

が恋文でもあれば大発見とばかり、当時の佐藤恒雄館長に尋ねたところ、たちどころに源氏物語の末摘花の一節の写しであることを指摘されて、佐藤館長の学識の前に私の愚かな夢は瞬く間に消えてしまったが、それでもその手跡から600年前の美人を偲び、束の間のロマンティズムに浸ったものである。

これからの図書館は、情報図書館としてコンピュー

タネットワークのなかで、迅速な情報提供が望まれる一方、書物でなければ果たせない温もりのある役割についても、少ない人数でどのように広げていけばよいのか、図書館の増築を喜びながらも問題は重なるばかりで、私としても考えさせられることが多い。

シリーズ・香川大学の貴重図書 7

神原文庫蔵『外国語学校教則』

教育学部助教授

竹 中 龍 範

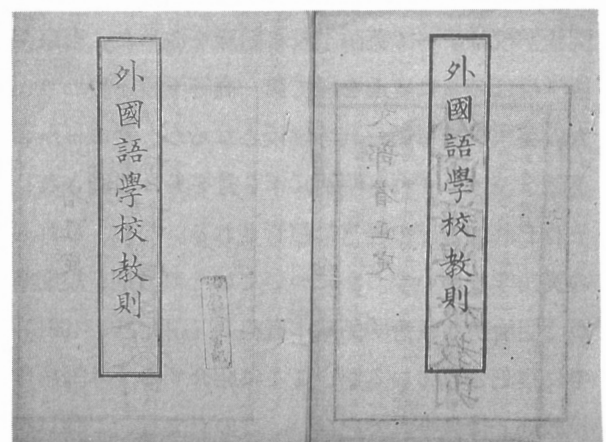
明治5年8月、わが国近代教育の出発点をかざる「学制」が公布され、「邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめんことを期す」という方針が明確に打ち出された。これは、維新政府による一連の教育施策を経てのことであったが、それ以前、教育といえば、幕府の昌平黉をはじめとする諸学校、藩学、郷校、寺子屋等におけるものでしかなかった。普通教育、すなわち、国民皆学教育制度はこの「学制」を以て始まりとする。もちろん、当時の社会情勢はそれを条文どおりに実施することを許すようなものではなく、明治12年にはこの「学制」が廃されて、新たに「教育令」が発せられ、さらに明治19年、諸学校令が公布される。こうして近代教育制度が確立し、整備されることとなるが、その軌道は「学制」によって敷かれたといえてよい。

全109章から成る「学制」は、「大中小学区ノ事」「海外留学生規則ノ事」等の6項目の構成になっているが、これに対し、明治6年3月に学制二編が追加され、翌4月、貸費生規則を追加、さらに同月28日付けで文部省布達第57号をもって学制二編が追加されている。その後も条文追加が行われ、200章を越えるものとなっている。

今回取り上げた「外国語学校教則」は、この布達第57号による学制二編に関わるもので、その第198

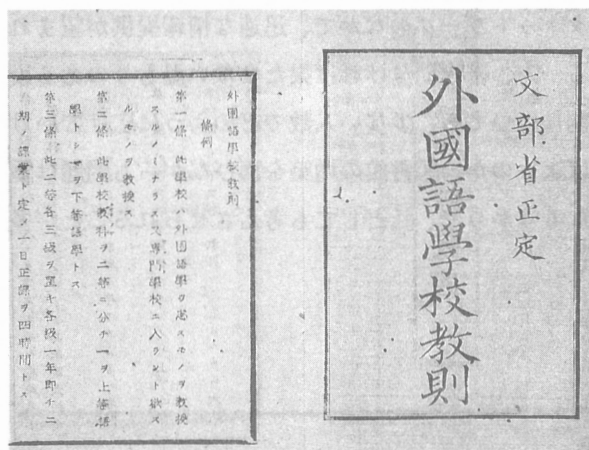
章に「外国語学校教科修業年限四年間トス其等級左ノ如シ」とある条文に割注によって「外国語学校教則別冊アリ」と但し書きされたその別冊である。わが国の近代教育史を研究するうえで、貴重な資料のひとつであると言えよう。

当時、開国後あまり歳月を経っていないわが国において、国民に教育を授けようとも、特に高等概念を表す日本語の語彙がなかった。3Rsをこえる部分を理解するには外国語によらざるを得ないというのが実情であった。さらに、そのような概念を理解し、体得している日本人も数は限られ、教育の分野でも多くのお雇い外国人が高給で雇用された。文明開化を押し進めるためには必要な政策であったということができよう。このような事情のために、外国語を

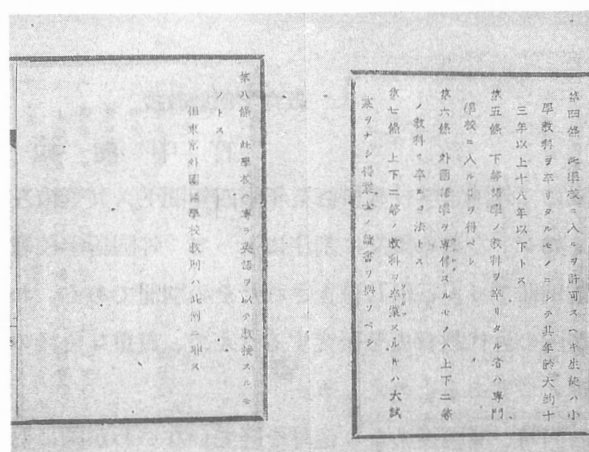


明治六年版

明治七年版



明治七年版 扉と巻頭

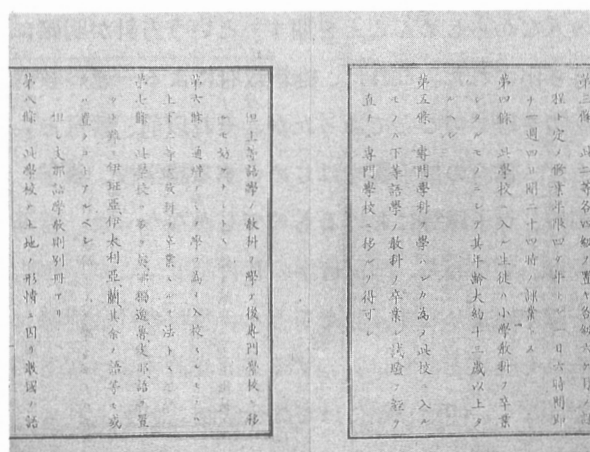


明治七年版 1丁裏2丁表

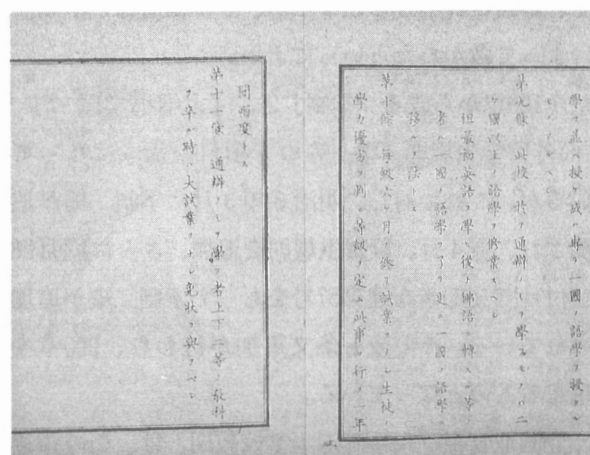
集中的に修得させることを目的とした学校が必要とされた。そうして設けられたのが外国語学校である。これは、明治6年から7年にかけて、東京、大阪、長崎、広島、愛知、宮城、新潟の通計7か所に設けられたが、明治7年12月には、東京外国語学校のうち、英語科を独立させて東京英語学校とし、他の外国語学校はすべて英語学校と組織を改めた。東京英語学校はのちに変遷を経て第一高等学校と変わり、大阪英語学校も第三高等学校となるが、そのほかの英語学校はいずれも明治10年2月をもって廃され、それぞれ地方庁の経営に移管される。なお、これらの英語学校のいくつかについてはその教則、規則等が『明治初期教育関係基本資料』（湖北社、1981）中に復刻されているが、ここに紹介する「外国語学校教則」は含まれていない。この点でも、これは神原文庫中の貴重資料のひとつに数えられよう。

「外国語学校教則」は神原文庫中に2部存するが、一は版心に「文部省」と入った袋綴じのもので、本文は1丁より9丁にいたり、これに表紙がつけられて、本文末は「明治六年四月 文部省」となっている。今一つは同じく袋綴じではあるが、本文丁付けは9から14となっており、14丁裏に「明治七年四月改定 文部省／右御達之趣厚ク可令遵奉モノ也／明治七年六月 栃木縣令鍋嶋幹」と記されたもので、栃木県布令として出されたものである。但し、後者は神原文庫蔵書としては登録されていないが、前者とともに収蔵されている。

内容を見ると、前者明治6年版の方は、条例が第1条から第11条まであり、その後には下等外国語学教則、上等外国語学教則が続いている。明治7年版では、条例は第8条までとなり、下等語学 三年、上等語学 三年として、各学年について授業科目が掲



明治六年版 1丁裏2丁表



明治六年版 2丁裏3丁表

